

① 学習指導案

プログラム	No. 8 「わたしたちのまちに言葉の贈りもの」
単元名 (全 時間)	庄戸モルック体験祭！～地域の魅力を伝え、みんなの笑顔を作ろう！～
学習のねらい	<p>地域の人が憩える場を作ったり、それを通して地域の人と交流したりする活動を通して、学校や地域の実態やそれらを改善していこうとする人々がいることに気づき、学校や地域の一員として、それらをより良くするために自分自身ができることを考え、地域に愛着を持ち、地域住民の一員としてよりよい地域を創っていこうとする。</p> <p>また、地域の魅力を伝える景観の写真に合わせて伝えることで、地域の魅力を再発見し、発信していく。</p>
学習内容	<p>1 地域のよさや課題を見つけよう</p> <p>2 地域を笑顔にするためにモルックを作ろう</p> <p>3 モルックをしながら地域の魅力を発信する景観の写真を撮ろう</p> <p>4 「庄戸モルック体験祭」を行おう</p>
参考資料	iPad
準備品	自作のモルック
実施場所等	校庭

②事業実施報告書詳細

学習の流れ

1 庄戸の地域について知ろう (総合 5 時間)

- 総合の授業を行うにあたって、自分たちの地域について知っていることを出し合う。
- 庄戸地域を地域探検することによって、自分たちが住んでいる地域の魅力や課題を考える。
- 自分たちが地域に対してどんな思いや願いを持って、これからどんな活動をしていきたいか考える
- ☆あじさいの会の方、庄戸サロンの方と地域めぐりで出会う。
- ☆それぞれの会の方々の活動している思いについて知る。

2 地域の魅力を伝える庄戸の景観の写真を撮ろう

- 発見した庄戸の魅力を伝えるために、地域をめぐって写真を撮る計画をたてる
- 地域で行っている「あじさい祭り」の写真を撮る
- 上郷自然の森に行き、魅力を伝える写真を撮る
- あじさい祭りに出展していた玉川大学の堀場先生と出会う。

3 地域をつなげるの場を作るためにどんな活動をしていくか計画をたてる (総合5時間)

- 地域の人が集まって話せる空間を作りたい。
- 地域の人が集まって笑顔になれる活動を行いたい。
- 地域の魅力を伝える活動がしたい。

4 同じような活動をしている玉川大学の堀場先生に聞いてみよう！

- 栄区でどんな活動をしているのか？
- なんのために活動しているのか～堀場先生の思い～

5 モルック協会の方をお呼びして、モルックを体験しよう！ (総合5時間)

- モルック協会の方を講師に迎え、モルックについて知る
- 実際に体験してみて、モルックの幅広い人が関われるよさを知る

6 KIDZUKIプロジェクトの方とつながり、活動について知り、木材についてくわしく知ろう！！ (総合5時間) (国語1時間)

- 堀場先生から紹介していただいたKIDZUKIプロジェクトの方とオンラインでつながり、モルックの木材や憩いの場を作るための木材の活用方法について知る
- KIDZUKIプロジェクトの方を通して、自分たちが活動するための木材の仕入れ方を知る

6 再利用した木材でモルック作りに挑戦しよう！ (総合5時間)

- モルックの作り方を玉川大学の堀場先生に教わり、図工室で制作する。

7 「庄戸モルック体験祭」を開催しよう！ (総合15時間) (国語3時間)

- 会を開催するにあつての準備や招待を行う
- 地域の人や学校の先生や児童、保護者の方を招いて会を行う
- 第一回の反省を踏まえて第二回や第三回大会を開く

活動写真

「あじさい祭り」に行き、地域の魅力を伝える写真を撮っている様子



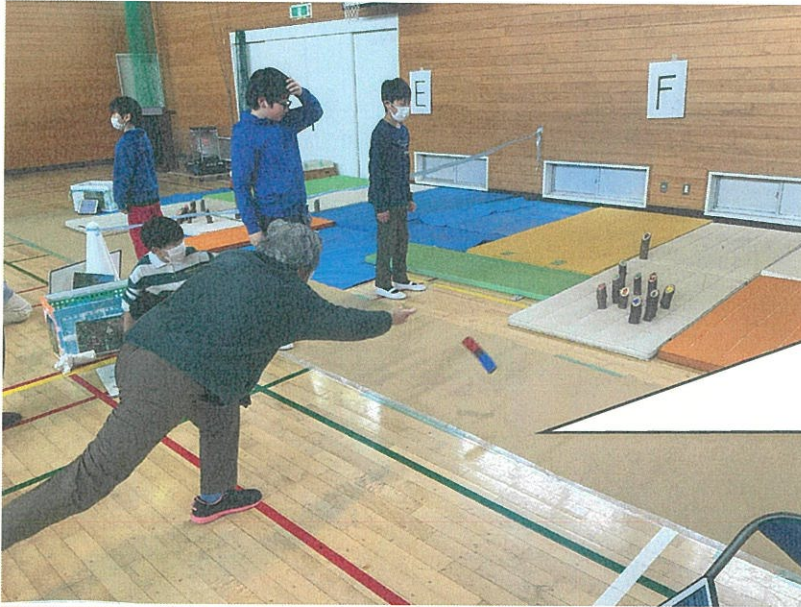
見晴らしのよい丘から地域を見ている様子

上郷自然の森へ行って、魅力を伝える写真を撮っている様子



児童が撮った魅力を伝える写真





地域の方を招いて
庄戸モルック祭の様子



地域の魅力の写真をモルックの箱
や得点表に貼って伝えている様子



③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>○子ども達が地域のよさに気付くことができるように、地域めぐりをしたり、地域のイベントに参加したりするなどした。</p> <p>○自分たちの地域の魅力をモルック祭に来てくれた方に紹介するという目的意識が子ども達のモチベーションにつながった。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>○写真をとるために、校外学習が多くなるため安全に気を付けて行った。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>○地域に出かけ、自分の好きな場所の写真を伝えることで楽しく生き生きと活動することができていた。</p> <p>○地域の魅力を再発見し、地域への愛着を高めることが</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>○景観学習によって、児童が自分たちの地域に関心を持ち、愛着をもつことができた。</p> <p>○子ども達が実際に校外に出て活動することで、生き生きとした表情で活動することができていた。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み [児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等]</p> <p>○今回はモルックを地域の方と行い、来てくれた方に地域の魅力を伝えるという2つのめあてをもって活動を行ったが、児童によってはどちらかに意識がいきってしまい達成が難しく子もいた。そのため、地域の魅力を伝える会とモルックを分けて行って活動するという手段もあったと思う。</p>